

# 消防団たずね歩き

## ● わがまち道場町

道場町は、六甲山の北部に位置し、今も緑豊かな田園風景が広がる所です。三田と有馬を結ぶ交通の要衝として、古くから栄えてきた歴史ある地域。昭和26年に神戸市兵庫区に編入、48年には北区に分区され、現在の神戸市北区道場町となりました。

町内には、有馬川・有野川が流れ武庫川に合流しています。また、JR道場駅・神鉄道場駅・道場南口駅があり、神戸・大阪方面への通学・通勤に多く利用されています。

神戸市民の水瓶である千刈水源地、鎌倉峡や百丈岩のハイキングコース等の観光資源も多く、自然や伝統ある歴史を活かした町づくりが進められています。

私たち道場支団は、火災・水災・その他の災害から、大切な道場町を守ろうと頑張っております。

## ● 秋季訓練

例年実施される夏季訓練が新型コロナの影響でマスクの着用が必要となり、熱中症対策も考慮し北消防団道場支団では令和3年11月7日(日曜日)に秋季訓練として道場町防災福祉コミュニティと合同で実施しました。

規律訓練などの基礎訓練、小型ポンプ操作訓練、最後に林野火災を想定した総合訓練として、ため池の自然水利から取水し、初めて行った菊水巻きでのホース作成と約500mの急な坂道を積載車からホースを落としながらのホース延長、火点まで小型ポンプ3台を中継しての放水と実火災を想定

した訓練を実施することが出来ました。



## ● 消防団のこれから

北消防団道場支団の団員定員は135名ですが、現在の実数は120名(内女性8名)となっています。道場町は緑豊かな田園風景が広がる地域ですが、市街化調整区域が多い為、新規入居者があまりなく少子高齢化が急速に進んでいます。

勤務地での入団、団員の定年撤廃、OB団員の再採用、女性団員の採用、学生団員の採用など入団を促進する方法は多数ありますが、なかなか入団数を増やすことは難しくなっています。

そのような状況ですが、今いる団員で一致団結し、北消防団道場支団を盛り上げていきたいと思っています。

## ● 最後に

まだまだ新型コロナウイルスは終息しませんが災害は待ってくれません。いつ発生してもおかしくないと言われている南海トラフ地震などの自然災害に備え、日頃からの訓練を重視し、支団長を中心に地域の防災力を高めていきたいと思っています。

道場支団 支団本部分団長 吉尾 仁